

山佐交流センターだより

2019年（令和元年）7月発行号

発行日 令和元年7月19日

発行 山佐交流センター TEL(FAX) 35-0129

6月末の上山佐人口＝ 377人（対前月比： ±0人）

上山佐を
みんなで
元気にして
いこう！



上山佐のイメージキャラクター「てんぼごん」

ダム湖畔に歓声響く

7月14日、第7回目をむかえる「山奥のたのしい課外授業」が山佐ダムキャンプ場で開催されました。主催はYamasa Club（代表：岡田秀明さん）。市内外の22の団体・事業者が、食事や加工食品そして雑貨の販売を行ったり、4組のバンドが出演するライブステージもあり、来場者は買い物をしたり音楽を楽しんだりしていました。

また会場中央には、メンバー手作りの高さ6メートルを超える竹モニュメントを設置。毎年恒例の竹スライダーやブランコに加え今年は竹枠プールも作られ、子どもたちは歓声をあげながら楽しそうに遊んでい



ました。時おり霧雨も降る天気の中、元気よくプールに飛び込む子もおり、周りの大人たちをびっくりさせていました。

これまでは4月に開催していたこのイベント、今年は様々な事情でこの梅雨の時期に開催されました。あいにくの空模様で例年と比べ参加者は少なかったようですが、松江市など市外からの参加者も多くあり、自然豊かな上山佐、そしてこのようなイベントを開催できる地域力のピーアールにもなったことと思います。

（写真は竹モニュメントと竹枠プールで遊ぶ子どもたち）

再生会議の本年度事業日程決まる

本年度の上山佐地区中山間地域コミュニティ再生会議（会長：加藤英俊さん）の事業日程が、次のとおり決定しましたのでお知らせします。

- ・ 9月15日(日)上山佐縁日（夕方4時から）
- ・ 11月17日(日)暖談まつり・一日マーケット

また平成27年に策定された上山佐の地域ビジョンをより一層推し進めるための具体策を、地域の方に集まってもらい話し合う催しも予定されています（冬期の開催を想定）。詳しくは、それぞれ事前に配布するチラシでお知らせされる予定です。各事業に対しご協力いただきますよう、お願いいたします。



（写真は昨年の上山佐縁日の様子）

震度6強の揺れにビックリ！

7月16日、ミニデイサービス（ニコニコサロン）を交流センターで開催しました。今回のミニデイ、まず安来市消防本部の方から地震や火災などの緊急時の対応についてビデオを見ながらお話し



を伺い、その後地震体験車で揺れを体験しました。この車、色々な揺れの強度を作り出すことができますが、今回は『震度6強』の揺れを4人ずつ乗車し体験。安全上の配慮から中央の机は固定してあり、それにしがみついた形で地震体験でしたが、実際に地震が

起きた場合はそれが固定してある訳ではないため、参加者は口々に「本当にこの規模の地震がきたらどうしたらいいだろうか。」と話していました。また山佐小学校の3・4年生もちょうど『消防の仕事』を勉強していることから一緒に参加。万が一の災害には日ごろからの備えが大切ですが、今回の地震体験、良い機会になったことと思います。（写真は地震体験車で震度6強の揺れを体験する参加者）

人口減少問題を考える（小学校統合について）

先ごろ近隣の町で小学校の統合計画が発表されました。山佐小学校の児童数も年々減少しており他人事ではありません。その町では統合計画に対し、それを考える住民組織が設立され、これまでに2



回「考える会」が開催されました。2回目の会議では、小学校の統合は行わない方針を打ち出した益田市の担当者のお話があり、それを傍聴させていただきました。その中の心に残った言葉を紹介します。

『子どもの教育は学校や親がするものだと考えている限り、地域に小学校を残す

必要は無い。子どもは「地域の子」でもある。学校教育のためだけに学校に通い家に帰り、触れ合う大人が親と学校の先生だけでは、地域で頑張っている大人と関わらず、将来帰って来て地域活動をするはずがない。評価する立場の先生や親ではない魅力的な大人たちがいて、話をし・聞いてくれることにより信頼感や繋がりが増す。子どもたちが地域の方々の生き様や考えや思い、活動をしっかり感じて育つ、日々地域で活動し、たくさんの人と会うことができる場、として学校を残すということ。地域ぐるみで育てる拠点として学校施設の機能も使いたい。地域の頑張る大人たちの姿を体感することが大切。地域の方々がどういうふうにも子どもたちを育てたいか、という思いがないといけない。小学校は学校教育のために残すのではない。』というような内容でした。

上山佐も奥田原とともに、これまで以上に「地域ぐるみの子育て」を住民全員で取り組んでいくことの大切さ、そして小学校を維持できる児童数確保の必要性を感じました。（写真は山佐小学校校舎）

8月	地域行事・交流センター行事 などの予定
1 木	健康体操、カラオケサークル、
2 金	
3 土	
4 日	
5 月	健康体操
6 火	
7 水	
8 木	健康体操
9 金	
10 土	
11 日	
12 月	
13 火	
14 水	
15 木	盆踊り大会
16 金	
17 土	
18 日	
19 月	健康体操
20 火	ニコニコサロン
21 水	クロリティ・スカットボール
22 木	健康体操
23 金	
24 土	
25 日	
26 月	健康体操
27 火	小学校2学期始業式
28 水	
29 木	健康体操、てんばこどもクラブ
30 金	てんばこどもクラブ
31 土	

（予定は変更になることもあります）

【お礼】
高木の岩田和男様から『転居に際しての地域の皆様へのお礼』としてご寄付をいただきました。誠にありがとうございます。厚くお礼申し上げます。新天地のご多幸とご活躍を祈念いたします。

【編集後記】
本文の小学校統合の記事の最後に「児童数確保の必要性」を記しています。子どもの絶対数が少ない中、どうすれば良いのでしょうか。「地域の魅力化」「学校の魅力化」を進め「この地域で子育てをしてみたい」という方を呼び込むことが解決策のひとつだと思います。ではどうしたら地域や学校の魅力がアップするのでしょうか？これも本文（再生会議の事業予定記事）で書いていますが、地域ビジョンを推し進めるための具体策を話し合う場が設定されます。そこで良いアイデアを出してもらうよう、今から考えていただければ幸いです。